

令和6年度 第1回 三木市健康づくり推進協議会 議事録

- 1 日 時：令和6年8月8日（木） 午後1時30分から午後3時
- 2 場 所：三木市総合保健福祉センター 2階 研修室
- 3 参加者：委員16名（会長含む）
- 4 傍聴者：なし
- 5 内 容：以下のとおり

1 開 会

司会進行：三木市健康福祉部健康増進課 課長

2 市長あいさつ

三木市長

3 会長あいさつ

三木市健康づくり推進協議会 会長

4 議事事項

(1) 健康プランみき21（第3次）について

ア 計画策定スケジュール

イ 健康プランみき21（第3次）素案について

説明：三木市健康福祉部健康増進課 健康政策係 係長

母子保健係 係長

質疑・意見

【委員】

資料中の標準化死亡比について、特に女性の自殺による死亡が多くなっているが、市の手立てや今後の対応についてどうお考えか。

【事務局】

自殺対策については、市に自殺対策本部を設置してそこで自殺対策について協議を行っています。

【委員】

自殺者については、毎年10人程度で推移していると思います。市には、ゲートキーパー養成の計画もあります。

**【委員】**

こころの健康づくりについて、こころを病むことで追い込まれていくが、日ごろの健康づくりとしてどのような事業が実施されているのか聞かせていただきたい。

**【事務局】**

三木市ではこころの相談窓口を設置し、電話相談を行っている。自殺者の原因内訳としては、健康問題、家庭問題が上位であるため相談事業は重要であると考えています。

**【委員】**

学齢期では各学校にスクールカウンセラーを配置し、労働者は健康診断の際にストレスチェックを実施し、産業医が指導を行っています。ライフステージに応じた相談体制が充実してきています。

**【委員】**

8020 運動が達成したとあるので、今後も同じように達成を、と思う。

**【委員】**

健康は長いスパンで考えていく必要があると考える。今回の計画は12年間の計画ということだが、PDCA サイクルとして短期間でも評価をしたほうが効果が高くなると考える。資料に目標値が記載されているが、これは12年後の目標値か。

**【事務局】**

12年後の目標値です。

**【委員】**

第2次計画のときの評価はどうなっていたのか気になる。第2次でも達成できず、第3次でも達成できなかつたら市民としては手遅れ感がある。今後どう評価をしていこうと考えているか。

**【事務局】**

各事業は市の関係課が連携して実施していくため、まずは各担当課において毎年しっかりと評価を行っていくことが重要であると考えています。今回のプランの目標は市民の健康づくりを達成するための大枠を示したものです。

**【委員】**

資料の中に目標の一覧が掲載されている。SDGS の目標の場合、17項目が構造化されている。その視点でみると、今回の53項目の目標は互いが関連しているとは思いますが、三木市としてどこを重点的に取り組もうとしているのか聞かせてほしい。

**【事務局】**

今回、分野ごとに挙げたのが三木市としての重点目標です。各目標の関連性については、今後検討していきます。

**【委員】**

各目標を達成することの積み重ねが健康の維持につながると考えます。

**【委員】**

関係機関、団体との連携について、計画の中に団体名を明記した方が意識づけにつながり、一体的に取り組みやすい計画になるのでは。また、フレイルなど新たな視点が含まれているのは良いと思う。

**【委員】**

「どこが」ということを明記することは意識づけの視点で大切です。自分たちの役割が明確になり、わかりやすいと思います。

**【委員】**

自分が入院した時の経験から医療従事者の言動もこころの健康づくりに大きく影響すると感じた。

**【委員】**

健康づくりの下地は食育であると思いますが、どうでしょうか。

**【委員】**

市ではいろいろなところでたくさんの食育の教室を実施している。こども、保護者、祖父母など皆集まって楽しく活動を行っている。今後も継続していただきたい。

**(2) 令和5年度保健事業の報告及び令和6年度保健事業について**

説明：三木市健康福祉部健康増進課 健康政策係 係長  
母子保健係 係長

質疑・意見

**【委員】**

骨髄等移植ドナー支援事業とは、どんな事業か。

**【事務局】**

命のボランティア事業といわれているが、少しでもドナーの方を支援するため、日額2万×最大10日間の助成事業です。ドナーについては年齢制限もあり、今後ドナー数も減少することが考えられるため少しでもドナーの増加につながるようにと助成事業を実施しています。

**【委員】**

健康医療相談ダイヤルと#7119について、#7119は兵庫県下でも広げてほしいと言われていると思うが、三木市の動きは。

**【事務局】**

健康医療相談ダイヤルは、三木市民だけが利用できる相談ダイヤルです。救急車を呼ぶかどうかだけでなく、健康についての相談ができます。#7119は分担金が必要になるが、県が推していることでもあり、今後も検討を続けていきます。

6 閉会

あいさつ：三木市健康づくり推進協議会 副会長